

# あたらしい絵本・児童書

あらたに市立図書館の蔵書に加わった絵本や児童書を紹介します☆

## 『パンダのソフトクリーム屋さん』

小川かなこ/さく 福音館書店

パンダのきょうだい、とんとんくんとらんらんちゃんは、ソフトクリームやさんをやっています。お客さんのくまくんははちみつ味のソフトクリームを注文しますが、お店にははちみつがないので取りに出かけます。高い木の上にあるハチの巣。3匹はどうやって取るのでしょうか。くすりと笑える楽しいお話です。



## 『妖怪オノマトペ』

石津ちひろ/ことば、広瀬克也/絵 絵本館

みなさん、妖怪を見たことはありますか。妖怪たちの音を聞いたことはありますか。どうやら世の中には様々な妖怪たちがいて、私たち人間のような音を立てて生活しているようです。そんな妖怪たちの動きや音が、どんなことばで表現されるのかとても気になりますね。



## 『いばらの髪のノラ I 黄金の心臓』

日向理恵子/作、吉田尚令/絵 童心社

魔法の4姉妹の末っ子ノラは、魔法が上手くつかえず、お姉さんたちから意地悪を言われ、いつも泣いています。書庫の本から見つけた「黄金の心臓」の記述。この「黄金の心臓」を手に入れば、自分も上手に魔法がつかえるようになるかもしれない…。ノラは冒険の旅に出かけます。大人気「雨ふる本屋」の作家が描くファンタジー、新シリーズです。



## 『くらべてわかる食育ずかん2 ごはん・パン・めん』

ごはんとおぎごはんどうちがう？』

中西明美/監修、理論社

「もちとだんご、どうちがう？」食べるとモチモチ、似ているけれど、どこが違うのでしょうか。「しよっパンとフランスパン、どうちがう？」食感は全然違うけれど、どうして違う食感になるのでしょうか。似ているようで実は違う、同じ分類だけどこかが違う、ごはん・パン・めんの違いを比べてみましょう。大人でも知らない違いが見つかるかもしれません。



山形市立図書館



第57号  
2024年 秋

発行：山形市立図書館 山形市小荷駄町 7-12 TEL：624-0822  
幼児から小学生のみなさん、絵本や児童書に関心のあるみなさんのための「としょかん Kids」という本の新聞です。



# みるみる書ける 読書感想文講座

8月4日(日)、佐藤 紀之 先生を講師にお迎えし、「みるみる書ける 読書感想文講座」が開かれました。佐藤先生は、元 公立中学校の校長先生で

国語がご専門です。長年、たくさんの生徒さんをご指導してきた経験を生かし、わかりやすくお話しくださいました。特に、参加した小学生・中学生の皆さんが目を輝かせていたのが「マンダラ思考」という方法です。講座終了後、「とても勉強になりました！」と幾つも感想が寄せられました。

「マンダラ思考」とは、完成までの流れを簡単に「読書→( )→書く①→推敲→書く②→仕上げ」のようにあらわすと、( )のところの作業になります。

読書をした後の「自分の考えをまとめる」段階です。

そのためのキーワードになるのが「8つの質問」です。この質問に

順番に答えていくと、そのままの順序で読書感想文が書けるという

ものです。説明を聞いた後、参加者は「8つの質問」に対して、自分の考えや思いを一生懸命に

まとめていました。途中、一人一人に佐藤先生から助言や

励ましがあり、その度に笑顔や頷きが見られました。

夏休み明け、参加者の皆さん全員が、胸を張って

読書感想文を提出・応募されたことと思います。

皆さんのさらなるご活躍をお祈りし、これからも

山形市立図書館を活用していただけますようお願い

いたします。







# ぼくとわたしの おすすめの本



この本は、謎野真実たち三人が、難しい問題を科学の知識を使い、三人で協力をして謎を解き明かしていく本です。

この本を読んでいくと、やうに難しい問題が次々と出てくるので、「一緒に考えていくところも面白いです。また、事件編と解決編に分かれているところも読みやすいです。幽霊塔事件では、月影霊夜が霊をうかすトリックをしました。それを、謎野真実が、霊の人形をガラスで反射させていたことを見破りました。細かいところまで見ている真実はとてもすごいと思いました。

ぜひ、一度手にとって読んでみてください。

山形市立楯山小学校 六年 秋葉星来さん

## 科学探偵VS.闇のホームズ学園

佐東みどり、石川北二、  
木滝りま、田中智章 著  
木々 絵  
朝日新聞出版 発行

10月27日(日)～11月9日(土)は読書週間です



2024年 標語

「この一行に逢いにきた」

本を読んでいると、素敵な言葉や痺れる言葉に出会うことがあります。

そして、その言葉が頭から離れず、何度も同じ本を繰り返して読んでしまいます。

みなさんには、そんな大事な本はありますか？

今年も読書の秋が始まりました。みなさんが素晴らしい本と出合えることを願っています。

## にしやまがたしょうがっこう 西山形小学校

で、<sup>でまえとしよかん</sup>出前図書館を行いました！



令和6年7月9日(火)、<sup>にしやまがたしょうがっこう</sup>西山形小学校内「とかみホール」に出張し、本の貸出体験学習を行いました。

木箱の中の100冊の中から自分の好きな本を2冊選んでもらい、カウンターにて自分でバーコードを読み取ってもらいました。

最初、<sup>にしやまがたしょうがっこう</sup>西山形小学校の5・6年生のみなさんは、「本を読むことが好きでも嫌いでもない。」「<sup>やまがたしりつとしよかん</sup>山形市立図書館には行ったことがない。」という方が多かったのですが、最後には、「いろいろあって迷った。全部読みたいくらいだった。」という感想をいただきました。楽しみながら本を選んでもらうことができました。

自分の貸出カードを握りしめ、<sup>やまがたしりつとしよかん</sup>山形市立図書館にも遊びに来てもらえたら嬉しいです。

### 出前図書館ってなに??

施設や学校等に、それぞれのテーマに沿った本をお持ちし、図書館外で貸出を行います。

学校図書館のいま⑤

山形市立高橋中学校

## 学芸委員会図書部の生徒による「読み聞かせ」

高橋中学校では、朝15分間の読書時間があります。その時間帯を利用して、学期ごとに一回、学芸委員会図書部の生徒さんがクラスの皆さんの前で絵本の読み聞かせを行っているそうです。

タブレット端末に読む絵本のページデータを入れ、それを電子黒板に映して読み聞かせを行っているのだそうです。そして、クラスの皆さんから感想を書いてもらい各クラスで掲示します。

休み時間は「サロンになる」ほどたくさんの生徒が集まる高橋中学校の図書館。勉強に部活動に忙しい日々の中でも、楽しく本に親しむことができる素敵な取り組みです。

